

消化器内科初期研修カリキュラム

カリキュラム責任者：高柳 成徳

<一般目標 GIO: General Instructional Objective>

一般内科診療の研修に必要な、診療頻度の高い腹部領域を中心とした疾患の診断、対応、処置を経験、修得することを目標とする。救急部との連携により、腹部救急疾患についても、実地の体験を通じた学習が可能である。研修期間中に自らが経験できなかった診療頻度の高い疾患や緊急性の高い疾患についても、各種カンファレンスにより擬似体験できる。

<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>

- ・ 消化器領域の疾患を通じて、全身の観察ができ、記載できるようになる。
- ・ 各種、血液生化学検査や画像検査の適応が判断でき、結果の解釈ができるようになる。
- ・ 上部消化器疾患（嘔吐、吐下血）、下部消化器疾患（下痢、便秘、血便）、肝胆膵疾患（黄疸、肝炎、胆石症、膵炎）を中心とした消化器救急疾患の初期治療に参加し、鑑別診断の列挙、検査・治療方針の決定ができるようになる。
- ・ ショック、発熱、体重減少、食欲低下、意識障害などの全身症状の変化より消化器疾患を鑑別とし、検査・治療方針を決定することができるようになる。
- ・ 静脈穿刺や動脈穿刺、腹腔穿刺など指導医の指導のもと施行できるようになる。
- ・ 診療録をはじめ、処方箋、指示箋、診断書、死体検案書、紹介状などの書類を指導医の指導のもと作成、管理できるようになる。
- ・ メディカルスタッフと協働して、診療計画を立てることができるようになる。

<方略 LS: Learning Strategies>

臨床現場を通じて業務に必要な知識や技能の習得をめざす。各研修医に指導医が付き、入院患者を担当しながら指導を受ける。全研修期間中、週 1 回程度の総合救急センター当直（内科当直）を行う。2 年目研修期間中、週 1 回程度の指導医の指導のもと初診外来を行う。入院受け持ち患者の退院後、1 週間以内にサマリーを記載し、指導医の評価を受ける。内科および院内合同症例検討会、抄読会、GPC、消化器内科治療方針検討会などの各種カンファレンス、院内外の講演会、研究会に積極的に参加し発表する。内科学会や消化器病学会、消化器内視鏡学会等への発表を行う。

週間スケジュール

【1 年次】

	月	火	水	木	金	土
8-9 時		モーニング レクチャー			外科合同 カンファレンス	
午前	病棟	検査見学	検査見学	消化器 救急	副院長 回診	
午後	病棟	病棟	病棟	消化器 救急	病棟	
夕方				治療カンファ レンス		

【2 年次】

	月	火	水	木	金	土
8-9 時		病理カン ファレンス		内視鏡カン ファレンス	外科合同 カンファレンス	
午前	病棟	検査実技	検査実技	初診外来	副院長 回診	
午後	病棟	病棟	病棟	初診外来	病棟	
夕方				治療カンファ レンス		

<研修評価 EV: Evaluation>

- ① 自己評価、研修医手帳に症例を記入する。
- ② PG-EPOC および事後レポートを用いて自己評価を行う。
- ③ 指導医による評価：PG-EPOC およびレポート等を用いて評価する。
- ④ コメディカル（看護師・技師）による評価：評価表を用いて評価する。